



なぞって練習

才氣らしいものを少し  
この人に添えたらと源  
氏は批評的に見ながら  
も、もつと深くこの人  
を知りたい気がして、  
「さあ出かけましょう。  
この近くのある家へ行っ  
て、気楽に明日まで  
話しましょう。こんな  
ふうでいつも暗い間に別  
れていかなければなら  
ないのは苦しいから」  
と云うと、  
「どうしてそんなに急  
なことをお言い出しに  
なりますの」  
「おおように夕顔は言  
っていた。」

■参考

※明日【あす】

(青空文庫のフリガナより)